

会派	役職及び氏名 (注1)	改選前 年齢	年 齢	当 選 回 数	平成19 年4月 選挙 得票数	一般質問回数(注2) (H19.6~23.6)				委員会 (注3)		主な役職歴(合併前議員歴を含む) 及び一部事務組會議会議員等の役職 (報酬、費用弁償の支給を受けるもの)。なお、()内は年間報酬額	住 所
						合 計	代 表	一 括	一 問 一 答	議 会 運 営	常 任		
新盛同志会	大畑 正二	新盛	56	②	2,421	8		8			教福	南大通二丁目	
	兼平 孝信	新盛	54	②	2,397	8		4	4		建設	紫波、稗貫衛生処理組合(34千円) 永井18地割	
	幹 豊村 徹也	新盛	57	②	3,035	17	4	12	1	○	総務	岩手県競馬組合(平成19年度から0円) 山岸三丁目	
	藤村 秀利	新盛	59	②	2,523	7		7			産環	手代森17地割	
	山本 武司	新盛	62	⑦	2,826	0					総務	元議長(平成11年度~18年度) 下米内二丁目	
盛友会	天沼 久純	新盛	55	②	2,590	7		2	5		総務	上鹿妻天沼	
	熊谷喜美男	新盛	65	⑤	2,999	0				委	建設	盛岡北部行政事務組合(41千円) 北松園二丁目	
	佐々木弥一	新盛	76	④	2,931	0					教福	盛岡矢巾都市計画組合(34千円)、旧都南⑤ 羽場15地割	
	議 佐藤 栄一	新盛	55	③	2,597	2	2				建設	前九年二丁目	
	千葉 長進	新盛	42	②	1,940	2		2			教福	南大通一丁目	
	吉田 孝人	新盛	63	②	2,132	4		4			産環	盛岡地区衛生処理組合(36千円) 下太田下川原	
	伊藤 俊光	明政	68	⑤	2,346	4		4			総務	監査委員(712千円) 松園二丁目	
	遠藤 政幸	明政	50	③	2,792	7		6	1		副・教福	岩手・玉山環境組合(42千円) 西青山三丁目	
	金沢 陽介	明政	44	③	2,106	10		5	5		総務	紫波、稗貫衛生処理組合(34千円) 本宮字野古	
	菊田 隆	明政	59	②	2,028	11		8	3		委・総務	津志田南一丁目	
	工藤 由春	明政	63	⑤	2,018	0				○	建設	前議長(平成19年度~20年度) 稲荷町	
	中村 一	明政	63	③	2,661	6		6		○	産環	盛岡紫波環境施設組合(34千円) 仙北三丁目	
	幹 村田 芳三	明政	62	④	2,342	4	2		2	○	産環	盛岡広域行政組合(14千円/日×最大10回) 馬場町	
	竹田 浩久 (福井 誠司)	新	-	①	3,112	13		12	1	-	-	-	農委(514千円)、岩手玉山環境(42千円)、旧玉山① 玉山区芋田 平成22年7月議員辞職 神明町
藤沢 由蔵	新	56	①	1,820	5		4	1		委・建設	盛岡北部行政事務組合(41千円) 根田茂第4地割		
市民連合	刈屋 秀俊	市民	58	④	2,565	5		4	1		総務	前副議長(H19~20)、旧都南③、競馬 三本柳1地割	
	幹 佐々木信一	市民	64	③	2,784	13	2	4	7	○	副・産環	盛岡地区衛生処理組合(36千円) 天昌寺町	
	副 佐藤 妙子	市民	65	④	2,373	3	2	1			教福	みたけ四丁目	
	高橋 重幸	市民	58	③	2,629	4		4		副	副・建設	上田三丁目	
	細川 光正	元	62	③	2,830	10		8	2		委・教福	盛岡矢巾都市計画組合(34千円) 大館町	
後藤百合子	新	62	①	1,855	13		9	4		副・総務	加賀野一丁目		
共産党	庄子 春治	共産	60	③	2,691	17		17		○	総務	盛岡紫波環境施設組合(34千円)、旧都南② 三本柳23地割	
	幹 鈴木 礼子	共産	65	⑦	2,719	14	4	10			教福	農業委員(514千円) 東松園三丁目	
	高橋 和夫	共産	72	①	1,796	17		16	1		産環	旧玉山村議8期 玉山区好摩	
	神部 伸也	新	36	①	2,085	17		17			教福	みたけ四丁目	
	鈴木 努	新	29	①	2,364	17		17			建設	南仙北二丁目	
改革・みらい	伊勢 志穂	議会	49	③	2,845	11		9	2	○	産環	前九年一丁目	
	藤川 智美	議会	69	⑥	2,246	4		3	1		建設	元議長(H7~10)、盛岡矢巾都計監査委(51千円) 西見前15地割	
	吉田 久孝	議会	75	⑦	1,988	3		3			産環	平成21年6月無所属から会派異動 川目町	
	千葉 健一	市民	72	③	2,995	13		10	3		教福	平成21年6月市民連合から会派異動 高松四丁目	
	幹 鈴木 俊祐	元	70	⑤	2,736	8		8			建設	岩手・玉山環境組合(42千円) 松園一丁目	
幹 鈴木 一夫	新	41	①	3,111	17	4	13		○	総務	仙北一丁目		
高橋 司	新	54	①	2,077	14		13	1		教福	紅葉が丘		
公明党	(嶋貫 尚)	公明	-	⑥	2,821	8		5	3	-	-	平成22年7月24日逝去 東仙北二丁目	
	伊達 康子	公明	56	②	3,239	13		10	3		建設	月が丘一丁目	
無	守谷 裕志	新盛	65	③	2,606	10		3	7		産環	平成22年4月盛友会から脱会 高松二丁目	

注1：年齢、役職等は平成23年7月1日現在。なお、幹=幹事長、議=議長、副=副議長
 注2：代表質問=持ち時間40分、一般質問(一括)=30分、一般質問(一問一答~平成21年度から導入)=15分
 注3：委=委員長、副=副委員長、教福=教育福祉、産環=産業環境

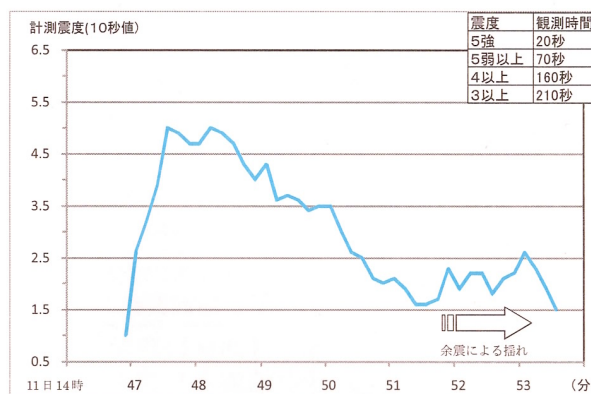
※当レポートは政務調査費により作成しています。

豊村てつや市議会レポート

盛岡市「地域防災計画」の充実・強化へ

～東日本大震災により課題が顕在化～

盛岡地方気象台〈3月11日の震度変化〉



当市の地域防災計画は「本編・地震対策編・資料編」の三分冊に分かれ記述されており、総ページ数は850Pを超える大冊です。

この計画では、様々な災害に対応するため、平常時における災害予防計画、災害発生時における災害応急対策計画及び災害復旧・復興計画を定めていますが、今回の東日本大震災のような大規模かつ広域的な災害を想定したものではありませんでした。

特に、県内全域が停電し、ガソリン等の物流が切断されるなど、過去例のない事態が生じたことから、今後は、大容量の自家発電装置の整備や、消防車両の活動に不可欠な燃料を確保する自家給油取

気象庁震度階級表

震度階級	計測震度	震度階級	計測震度
0	0.5未満	5弱	4.5以上 5.0未満
1	0.5以上 1.5未満	5強	5.0以上 5.5未満
2	1.5以上 2.5未満	6弱	5.5以上 6.0未満
3	2.5以上 3.5未満	6強	6.0以上 6.5未満
4	3.5以上 4.5未満	7	6.5以上

扱所の設置等、対応策を講じる必要があります。

また、被災した沿岸市町村への支援や被災者の受入態勢など、自治体間の広域連携についても、大きな課題が浮き彫りになったことから、これらを含めた地域防災計画の充実強化が急務となっています。

盛岡市の地震履歴(3.11大震災以前)

市で地震被害が記録されている事例で、震度5以上のもの(推定含む)

発生年月日	震度	被害地域	震央位置
1677.4.13	-	盛岡在所大破損	陸中
1770.5.27	-	盛岡在所破損、人馬死亡	陸中盛岡
1896.8.31	5~6	家屋の小破63棟	秋田・岩手県境
1968.5.16	5	死者1名、家屋破損4戸	青森県東方沖
1987.1.9	5	負傷2名	岩泉町付近
2003.5.26	5弱	負傷2名	宮城県沖
2008.7.24	5弱	負傷6名	岩手県沿岸北部

豊村てつやプロフィール



昭和29年4月25日 一関市生まれ
 48年3月 盛岡一高卒業
 54年3月 成蹊大学法学部卒業
 54年4月 岩手県信連入会
 平成15年3月 同上退職
 15年5月 盛岡市議会議員
 19年4月 同上再選

家族：妻、長男、オカメインコ・文鳥
 血液型：O型
 趣味：オカリナ・ケーナの演奏、音楽鑑賞、テニス

平成23年8月現在の主な役職と連絡先

山岸三丁目町内会会長	[総務部長 深倉尚充	662-2690]
山岸地区町内会連合会会長	[事務局長 松田善春	663-2766]
山岸地区福祉推進会会長	[山岸児童・老人福祉センター	625-3601]
	[山岸地区活動センター	663-2505]
加賀野交番連絡協議会理事	[加賀野交番	663-6221]
	[第6分団屯所	622-3406]
市消防団第6分団後援会会長	[神社社務所	623-5082]
岩谷稲荷神社責任役員	[山岸保育園	623-6976]
(社福)東部借興会理事	[養護老人ホーム清和荘	624-0533]
(社福)小原慶福会理事	[青山保育園	646-4605]
(社福)岩手県同胞援護会理事	[NPO)WaiWai-ぐるんば理事、(NPO)もりおか中津川の会理事	

【盛岡市 651-4111・議会事務局 626-7506】
 新盛同志会幹事長、議会運営委員、総務常任委員、
 盛岡市表彰選考委員、岩手県競馬組合議会議員

○盛岡市で想定される地震被害

地震は、プレート境界型(海溝型)と直下型(断層型)、火山性のものに大別されます。3.11大震災は太平洋プレートが北米プレートに潜り込むことによって生じた大規模プレート境界型の地震で、プレートは内陸に向かって潜り込んでいますから、震源は陸地に近づくと深くなります。

従って、盛岡市にとって、**プレート境界型地震の場合は、震源が遠い、または深いことから、神戸のような壊滅的な被害は生じ難いものと推測されています。**

また、直下型地震に関しては、本県には南北約60kmにわたる「北上低地西縁断層帯」があって、その北部側を花巻断層帯と呼び、これが震源となった場合は、盛岡市に相当大きな被害をもたらす恐れがあるということで、地域防災計画の地震対策編でもここを想定震源域と仮定して、想定被害規模を算出しています。

※想定マグニチュード7.3、

推定震度6強～5弱

岩手県は、阪神大震災後に活断層調査委員会を設置して内陸部の活断層を調査、2001年6月に評価をまとめており、当該断層で想定される地震の規模はマグニチュード7.3、**300年以内に発生する確率はほぼ0%**と評価しています。

○地盤特性と地震時の揺れ(2003年5月26日宮城県沖地震の調査結果より)

盛岡地方気象台の震度5弱に対し、**住民体感震度は、3.2～5.4まで震度2以上の大きな差異があり、特に、揺れが大きかった区域は青山町、大新町、みたけ、上堂など市北西部で、一方、市中心部から東側の加賀野、中野や南部の永井などで揺れが小さくなっています。**

盛岡市北西部から滝沢村南東部一帯には軟弱な火山泥流、ロームなどが厚く堆積し、N値・S波速度が小さく、増幅幅が大きく、微動の震幅が大きいのに対し、盛岡市中心部から東側には花崗岩など固い岩盤

が分布しています。

従って、地震時の揺れの程度は、表層地盤の軟弱さなど地質条件に影響され、また、個々の地盤条件～湿地・沼地などの旧地形、**盛土・切土など宅地造成状況などでも異なります。**

○岩手山の主な火山活動

活動年	レベル	火山活動の状況
1686	5(避難)	東岩手山山頂の噴火
1732	4(避難準備)	東岩手山山腹の噴火(焼走り溶岩噴出)
1919	3(入山規制)	西岩手山～大地獄谷の水蒸気爆発
1998	2(火山口周辺規制)	3月17日火山性地震が増加し地殻変動開始
1998	3(入山規制)	4月29日短時間に多数の地震と規模の大きい地震が発生、7月から入山規制実施
2004	1(平常)	火山活動の低下に伴い、7月に入山規制解除

○消防体制の整備状況

市街地の消防署所は、国の基準数9署所に対して現有9署所と充足しています。

署所数の算定に当たっては、出勤から現場到着までの「走行限界時間」を4.5分、この時間内に到達できるエリアを「署所担当面積」としており、消防隊は現場到着から放水開始までの「放水準備時間」を2分とし、**出勤後6.5分以内に放水を開始しなければならないこととされています。**

※現有9署所の内訳

盛岡中央消防署、上田・松園・中野出張所
盛岡西消防署、城西・厨川出張所
盛岡南消防署、仙北出張所
署所担当面積未包含地区＝本宮・山岸

現在、内丸にある盛岡中央消防署は、消防・救急無線デジタル化対応のため、**平成27年度末までに盛岡駅西口へ移転新築することが決定し、本宮地区の空白地帯が解消することになりましたが、今度**

は、移転に伴い名須川町などの空白地域が生じることから、同地区がエリアとなる**山岸地区出張所の建設時期を早期に明確化する必要があります。**

○ライフライン関係

停電時に対応するための上下水道の**非常用自家発電設備**については、以下のとおりとなっています。

なお、米内浄水場は高低差がある給水地域が多いため、配水池からの自然流下により停電時から断水までの時間差があります。

浄水場別非常用自家発電設備の有無

浄水場名	発電機容量(kVA)	最大燃料消費時の運転時間	主な給水範囲
米内	—	—	北部地区
中屋敷	—	—	西部地区
沢田	200	20.7h	盛南・旧都南
新庄	750	33.3h	中心部・東部

下水道関係の自家発電設備の運転時間について、雨水ポンプ場は概ね2日～4日、汚水中継ポンプ場は概ね8時間～1日となっています。(その他のポンプアップ箇所については発電機を車載し、巡回方式で対応)

ガスについては、都市ガス(盛岡ガス)の備蓄は4～5日ですが、緊急車輛とし

(2) 児童・生徒の転校人数(平成23年7月11日現在)

市町村名	宮古市	岩泉町	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	小計	県内その他	合計	宮城県	福島県	県外計	総計
小学生	12	1	21	17	17	9	15	92	2	94	14	16	30	124
中学生	1	1	6	11	5	3	3	30	1	31	5	4	9	40
計	13	2	27	28	22	12	18	122	3	125	19	20	39	164

ての輸送で確保しているとのことで、プロパンガスは一般家庭で交換後約1カ月が目安です。

東北6県の発電量(平成23年5月現在)
(単位:出力、万kW)

区分	水力	火力	原子力	地熱	計
岩手県	28.7	14.9		10.4	54.0
内訳	東北電力	6.1		8.0	14.1
	新日鐵釜石		14.9		14.9
	県営発電所	14.6			14.6
	その他	8.0		2.4	10.4
東北電力	青森県	12.7	25.0	110.0	147.7
	秋田県	13.7	250.0		263.7
	宮城県	6.4	139.6	217.4	363.4
	山形県	27.4	70.0		97.4
	福島県	151.2	562.5		713.7
東北6県合計	240.1	1,062.0	327.4	24.8	1,654.3

注:岩手は平成20年度のもの。なお、火力は宮城の全部、福島の一部(120万kW)が停止中。原子力は全て停止状態。

○被災者の盛岡市転入

(1) 転入届提出者数(平成23年6月末現在)

区分	世帯数	人数
岩手県内の被災地から	826	1,402
宮城県内の被災地から	362	510
福島県内の被災地から	120	202
合計	1,308	2,114

注) 避難所の避難者数126人(7月8日現在)は含まない。

[豊村徹也の連絡先:自宅]

〒020-0004 盛岡市山岸三丁目23-10 TEL・FAX 019-661-4124 携帯 090-5185-0308
E-mail:t-toyomura@ictnet.ne.jp http://www.ictnet.ne.jp/~t-toyomura/

